



柿栗レポート

ごあいさつ

毎日に秋も深まり、秋の味覚が美味しい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ ちなみに私が新城に住んで嬉しいことの一つは、新鮮でお手頃価格の地元の農産物を堪能できるということで、我が家では毎年秋になると大好きな栗や里芋やサツマイモが頻繁に食卓に登場します。

さて、9月定例会では私が議員になって初めての決算や、市議会議員になって4度目の一般質問も行いました。その一部抜粋をここにご報告いたします。

市の事業予算（補正予算）ピックアップ

事業内容	予算額
① 学校給食費支援事業 ----- 新型コロナウイルス感染症が流行すると同時に物価高騰により家庭での出費が増えていることから、学校給食費の5ヶ月分相当額を支給します。	9,534 万円 コロナ臨時交付金 76,272,000 円 コロナ対策基金 19,068,000 円
② 学校給食施設改築事業 ----- 学校給食共同調理場（給食センター）及び駐車場の、敷地造成工事を行います。	1 億 9,070 万 7 千円 地方債 181,100,000 円 市税等 9,607,000 円
③ 小学校トイレ洋式化事業 ----- 新型コロナウイルス感染防止対策として、日常使用される児童用・職員用基本 <u>全てのトイレ</u> の洋式化工事を行います。（東郷東小・船着小・八名小・庭野小の4校のみ）	1 億 2,120 万 9 千円 コロナ臨時交付金 全額

上記②を含む第92号議案に、以下の理由で反対しました。

多くの保護者が望むのは自校式給食であると分かっているにもかかわらず、事業の決定前に保護者含む市民の声を一切聞いておらず、過去の会議録を見ると、どうやったら自校式を残すことができるかという議論も全くされていない。また3月議会で付された付帯決議には「市民に丁寧な説明を行うこと」とあるにもかかわらず、それもコロナを理由に未だ行っていない。市が開催するイベントや講習会・集会など普通に行われていることを鑑みると、不誠実であるとしか言いようがない。この事業は他にも建築の専門家からも指摘されている様々な問題もある為、一度立ち止まって最初から検討し直すべきと考える。

上記③を含む第120号議案に、以下の反対討論をしました。

1) コロナ対策ということであるが、汚物の混ざった水が飛び散っている蓋を触らなくては開けることができない為、本当に感染予防効果があるのか疑問。 2) 肌が直接便器に触れることのない和式の方が良いという人もいます。 3) この事業は今後さらに大きな費用がかかる見込みで、新城市の財政に見合った計画になっていない。 4) 近年しゃがめない子供が増えている。和式には健康上や衛生上で良い面がたくさんあるので残すべき。よって、「全てのトイレを洋式にする」ことには反対。（一部のトイレで良いのでは？）



【第11回新城市 市民まちづくり集會に参加しました】

9月23日に開催された市民まちづくり集會に、市議会からも私を含めた3名、実行委員会のアドバイザーとして参加しました。今回のテーマは「旧新城東高等学校の跡地について」で、市民が跡地をどのように活用して欲しいと考えているのか、皆さんの意見を集約するというのが目的で、結果はまとまり次第「ほのか」に掲載される予定とのことです。ちなみに私が担当したグループでは、圧倒的に体育施設という意見が多かったです。用途に関しては、今回の結果はあくまでも一つの検討要素であり、他にも様々な要素が考慮される必要があるため、今回の多数意見が必ずしも結果に反映されるとは限りません。

【市内こども園の視察に行きました】

10月に厚生文教委員会で、千郷地区と東郷地区の全部で6カ所のこども園の視察に行きました。うち1カ所は、私が議員になる何年か前から老朽化が課題になっている、千郷中こども園。当時はその場で建て替えか移転かということで意見が分かれ、結局計画は白紙に戻ったということですが、今回初めて訪問してみても私が思ったこと。町に近くて住むのには便利なのに自然に囲まれ、どこか懐かしさを覚えるすごく素敵なこども園でした！人口減少が激しい新城市は、市外の人には選ばれる町にしておく必要があると思っています。そのためには田舎の良さを活かしたまちづくりをしていくべきです。町に住む人が田舎暮らしに期待することを理解し、市の特色としてアピールして欲しいと思います。

一般質問で取り上げた内容を、来年度の議会からの予算要望に入れていただきました！

- ・市内こども園と小中学校給食への、地場産の無農薬・無化学肥料・有機自然農法の導入
- ・生活習慣病予備軍・自己免疫機能の向上に関する出前講座や周知啓発

～🍌 ちょっと雑談 🍌～

このレポートの名前の「柿栗」。柿は新城の特産品だからわかるけど、栗はなんだろう？って、時々聞かれます。実はこれ、私の父が埼玉で営んでいた「柿田医院」を、家族の中では柿田クリニック→柿クリと呼んでいたことから始まってます。なので「柿栗レポート」は私の旧姓「柿田」の柿と、クリニックのクリ（栗）から名付けたものでした😊。とはいうもののこの呼び方は我が家では随分前から使っていたし、柿は新城の名産だし、栗は個人的に大好きなので、本当に愛着があります。新城では秋になると、一面の彼岸花やたわわに実った柿の木・お店に並ぶたくさんの新城産の栗、春夏秋冬も季節を感じる風景や豊かな地元の農産物など、私の実家の付近や以前住んでいたロンドンではあまり見ることができなかったどこか懐かしい風景がたくさん残っていて本当に癒されます😊。都会の生活は便利だけど、人間らしさを失っていると感じます。そしてそれに気がついている人も沢山います。新城市も、そういった人たちが移住先を選んでくれるよう、田舎の良さをしっかりと活かしたまちづくりをして欲しいものです。

【カークランド陽子事務所】

住所：愛知県新城市西新町 29-2
 電話：080 9280 9605
 E-mail: info@yoko-kirkland.com
 HP: yoko-kirkland.com

ご意見・ご質問・お困りごと等
 お気軽にお問い合わせ
 ください♪

一般質問の動画はこちら→



令和4年9月定例会・一般質問

コロナ

コロナ第7波と子供のマスク着用について

質問	愛知県によると、第7波で新型コロナが原因で死亡した人はほとんどいない。重症者は他の病気が原因で重篤な状態となっている人がほとんど。県は国に対し「他の疾患が主要な原因の場合を除外、または別区分とするなど、定義・公表方法を変更すること」を求めた。ということだが、本市の認識は？	回答	都道府県が公表している死亡者数に関しては、コロナ陽性者で入院中や療養中に亡くなった方に関しては、厳密な死因を問わず死亡者数として全数を公表することになっている。そのため愛知県が発表しているコロナ死亡者数については、他の病気で亡くなった患者さんを検査して陽性だった場合には、コロナ死亡者数としてあげていると認識している。他の病気で亡くなった方も念のため検査したらコロナだったというケースを含むのはミスリーディングになる可能性があると考え、国に求めたという理解。
質問	子供のマスク着用について、本市の現時点での対応は？	回答	こども園は、マスクを着用する場合は息苦しくないか嘔吐していないかなど、体調変化に十分注意するようしている。 小中学校は、基本的にマスクを着用して学校生活を過ごしているが、体育の授業・部活動・外遊びの時はしなくて良いとしている。登下校でも熱中症対策の観点からマスクを外すよう指導をしている。
質問	マスク着用が子供に与える影響についての認識は？	回答	子供は成長期の真っ只中にある。マスク着用により自分の表情が表しづらい・相手の表情が分かりにくい・積極的にコミュニケーションを取ろうとしなくなる。 子供の発達段階においては大きな声で思い切り自己表現することも大切であるが、マスク着用により大声を出しにくいなど対人関係・相互理解・自己表現・精神発達など様々な面で将来的に何らかの影響を及ぼす可能性があると考えている。
要望	マスクの弊害は他にも、マスク生活をする事により、息がしにくかったりマスクのゴムで耳の後ろの筋肉が緊張することによって舌骨が後ろに引っ張られることによって舌もあごも下に引っ張られ、口呼吸（お口ポカン）になる。口呼吸になると、・風邪をひきやすい・虫歯になりやすい・歯並びが悪くなる・鼻が詰まりやすいなど健康面にも悪影響が出る可能性がある。 今の子供が子供である時期は今だけ。あとで取り返すことはできません。マスクが子供に与える悪影響が最小限で済むよう、対策をとってほしい。		

農業

有機農業について

質問	H18に化学肥料・農薬・遺伝子組み換え技術を使用しない「有機農業」の発展を図ることを目的とした法律が制定された。またR4にはみどりの食糧システム法が成立したが、本市の有機農業や有機農作物に関する方針は？（政府は2050年までに農薬50%減・化学肥料30%減を設定）	回答	9月には国の基本方針が公表されるので、これらの制度に沿った支援が軸になる。農業者が支援を受けるためには県と市町村が共同で基本計画を作成することが条件となっているので、基本計画を作成した上で事業を進める。今後は栽培農家の考えを尊重した上で有機農業拡大に向けての課題等を整理し、調査検討していきたい。有機農作物についても需要や提供先を十分調査した上で関係者等とも連携しながら、供給体制の拡大について検討していきたい。
意見	国連食糧農業機関によると、学校給食に地元産の有機農作物などを取り入れることには、児童生徒の栄養・健康を改善・食育・地域の環境を改善・雇用を生み出す・伝統食文化の継承など、様々な効果があるとのこと。また農林水産省によると、千葉県いすみ市では給食に取り入れることにより、食べ残しの減少・イメージアップ・認知度向上・移住者の増加・農作物のブランド化・農業所得の向上・新規就農者の増加などの効果を上げている。さらに、給食食材からよく検出される農薬が、子供の発達障害や小児癌・糖尿病・喘息などのアレルギーへの影響も疑われているが、伺う。		
質問	本市の学校給食への有機農産物の活用に対する考えは？	回答	市としても試験的にやりたいということで、こども園の小規模園で一度試行していきたいと思っている。まずはできるところからやっていきたい。
意見	まずは公共調達である学校給食で導入を始めてしまって、それから同時進行で体制を整え大きくしていくのも一つの方法ではないか。慣行農業も食糧安全保障の面でもとても大切なこと。一度に全て有機にするということではなく、小さく始めて大きくしていけば良いのでは？		

給食センター問題

4月に保護者に配布された、①「学校給食の共同調理場への移行について」と、②ほのか8月号の学校給食に関する記事の内容について

	カークランドの質問	当局からの回答
①	新城市の学校給食の伝統とは？	自校調理方式の学校給食により子供の心身の成長に寄与してきたこと。地産地消の献立、働く人に感謝する場など。
	それに加えて「さらに」楽しめるようにする、新たな手法とは？	アレルギー専用ブースや新たな調理器具・見学通路・タブレットで学べる
	「新城市学校給食基本方針」の以下4項目について 具体的な方法は？	
	ア、日本各地の給食センターで、食中毒や異物混入によって何ヶ月も給食がストップするという事例が後を絶たないし、工事のために一定期間給食が止まるとのことだが、安全安心な給食の安定的な供給とは？	アレルギー対応専用ブースがある。給食を安定して供給する為、業務に精通し運営ノウハウを持った民間業者に業務を委託する。
	自校式で今まで食中毒などの事故はあったか？	一度もない
	自校式がベストだとわかっているとのことだが、どうやったら自校式を続けられるか、という検討や調査はしたのか？	していない
	イ、食育の促進	具体的な方法はこれから決める
	ウ、地産地消の促進 随分前から数値を掲げているにもかかわらず、地産地消の給食への利用の数値は右肩下がりだが？ JAとの取り組みなどはしているのか？	農家の高齢化により生産量が低下・天候による量の確保が困難・形が不揃いだったり、なかなか進んでいない。給食センターになれば一箇所から発注調達を行うので、これから調整したい。 (JAとの取り組みや調整などは、まだしていない)
②	エ、郷土愛を育む献立の充実	
	H27の「新城市の学校給食のあり方検討資料」には自校式のメリットとして、食物アレルギーの個々の対応が可能になる・災害時学校が避難場所になった場合食事の提供が可能となるとあるが、令和4年のほのか8月号には書いていないのはなぜか？	アレルギー対応については現在は個々の学校で対応しているが、給食センターになれば専用のブースが設置されるため、あえて自校式のメリットとしては書かなかった。 災害時に関しては、当然電気やガスを使用して食事の用意をすることになるが、それをするためには現場に慣れていない人が調理室に入って食事の用意するのは危険であると考えているので、記入しなかった。

H27年の資料にある「センター式のメリット」はほとんど全てが効率。当局も自校式がベストであると言っているにもかかわらず、自校式を続ける方法を模索することなく効率の良いセンターに決められた、また、3月から言っている市民に対する説明会も未だ開催されていないのは、残念でならない。

一般質問は、「新城市議会インターネット中継」と検索すると見ることができます！